

「ワクチン接種の注意点」の報告

前回に続き、「ワクチン接種」最新の情報と注意点を自治会会員限定で、お知らせします。

- (1) 集団接種特設会場ですが、朝来地区は「東体育館」になります。
 - (2) バス・タクシーの予約は、一旦今週で締め切りとなります。
 - (3) 65歳以上高齢者接種の2回接種を終えるのが、8月頃になるとの事。
 - (4) 「基礎疾患患者接種」は6月以降になります。接種は、「個別医療機関」になります。
 - (5) 64歳以下（接種対象人数40,000人）は、2回接種を終えるのが9月末予定。
 - (6) 「お薬手帳」を念の為、接種会場へ持って行かれる事をお勧めします。
 - (7) 接種期限を過ぎると「有料」になる可能性もあります。
 - (8) 「副反応」2回目接種に注意
 - ※ 腕の痛み・発熱・頭痛 ①2日目がピーク・②1週間でほぼ収まる・③2回目の方が副反応が強い つらいと感じたら医療機関に相談して下さい。
 - (9) 必ず、腕が出しやすい服装で行く事。
- ◎ 28日現在65歳以上高齢者の「接種希望者」更に2,000人増（計20,000人）になっています。
- ◎ 「ワクチン」は京都府が配分数を決定します。4月29日に舞鶴市に4,000人分が第1便で入荷します。接種地区を限定しながら順次実施して行くとの事。

■ 2回目以降に「ワクチン集団接種当日の流れ」・「予診票」・「接種券」を添付

【2回接種する理由】

2回接種する事により、1回目の4週間後に新型コロナの発症率は20分の1に減り、半年後も9割の人に効果が続きます。免疫力が強くなります。多くの方が接種する事により「集団免疫」の状態になり、接種出来ない人・15歳以下の子供を守る事になります。（但し、変異ウィルスについては分からない）

重要《接種券について》

- (注1) 何かしらの事情により市外で接種される方。原則、舞鶴市発行の「接種券」が必要になります。
- (注2) 1回目「予防接種済証シール」が無ければ、2回目接種が受けられない事になりますので、大切に保管して下さい。
- (注3) 医師による問診で「予診のみシール」の方は、かかりつけ医等医療機関で相談して頂く事になります。

【接種の不適当者と要注意者】

◆ 不適当者（接種が受けられない）

- ① 37, 5度以上の発熱・②重い急性の病気にかかっている・③ワクチンの成分でアナフィラキシーを起こした経験がある

◆ 要注意者（接種後の体調変化に要注意）

- ①心臓、腎臓、肝臓、血液の病気がある・②予防接種後2日以内に発熱やアレルギー症状が出た事がある・③けいれんを起こした事がある・④免疫不全の診断を受けたか、家族などに、先天性免疫不全症の患者がいる・⑤ワクチンの成分でアレルギーを起こす可能性がある

◆大型連休中は「京都新型コロナ医療相談センター」075・414・5487要相談